

## PDA関西高等学校即興型英語ディベート交流大会 2020

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2020年8月22日(土) 13:00-17:00

会場：オンライン(本部：大阪府立北野高等学校)

参加校：6校(堀川高校、奈良高校、神戸高校、彦根東高校、膳所高校、北野高校)

参加者：生徒35名、教員15名

スタッフ：PDAスタッフ、名古屋工業大学、九州大学、熊本高校、千種高校

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)

助成：駐大阪・神戸アメリカ総領事館、公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

開会式では、参加校の校長先生よりご挨拶いただきました。膳所高校の檀原先生より、「リモートでの開催だが、これから先こういうスタイルで意見をぶつけ合うことが非常に重要になってくる。ぜひ頑張ってもらいたい。」とエールが送られました。彦根東高等学校の青山先生より、「その場で考えるということが将来のためになる。失敗を恐れずに頑張ってください。」とメッセージが送られました。そして、奈良高等学校の中野先生より、「即興型ディベートは論理的に考えることが重要になってくる。これはグローバルに活躍する上で必要なスキルになります。ぜひ今回そのスキルを磨いてください。」とご挨拶いただきました。

また、今回助成をいただいている駐大阪・神戸アメリカ総領事館のアリシア・エドワーズ様より、本交流大会への応援メッセージ及びアメリカ留学の紹介をしていただきました。本年度は、選ばれた6名のディベーターにTOEFLの受験料が進呈される旨についてもお話いただきました。



膳所高校 校長 檀原先生によるご挨拶



彦根東高校 校長 青山先生によるご挨拶



奈良東高校 校長 中野先生によるご挨拶



駐大阪・神戸アメリカ総領事館アリシア・エドワーズ様によるご挨拶

次に、PDA 代表理事である中川智皓（大阪府立大学工学研究科准教授）より挨拶があり、PDA 参加している 6 校の学校紹介、POI（質疑応答）の確認があり、早速 1 ラウンド目の対戦表が発表されました。

第 1 ラウンドのお題は「*Japan should legalize euthanasia. (日本は、安楽死を合法化すべきである。)*」でした。初めは緊張した雰囲気でしたが、実際にディベートが始まるとチームメイトと作戦を練りながら熱いディベートが繰り広げられました。同意はどうやってとるのか、治療法がない中で生き続けることの辛さ、医師の負担、家族の心情など様々な観点から議論が行われました。第 1 ラウンドからとても白熱したディベートが繰り広げられました。ディベートが終わると、ジャッジの先生のコメントを真剣に書きとる様子が見られました。



準備時間(神戸 A)



準備時間(彦根東)



ラウンド 1(北野 A vs 膳所 A)



真剣にフィードバックを聴く様子

続く第 2 ラウンドのお題は、「*It is better to study in the U.S. during high school days than after entering university in Japan. (アメリカに留学するなら、大学入学後よりも、高校在学中にしたほうがよい。)*」でした。大学の進路を決めるための材料として早めに行ったほうがいいといった意見や、大学で学びたいことを明確にしてからでないと留学しても学ぶものが限られるといった意見など、留学の目的に立ち返った意見が交わされました。



準備時間(堀川・北野混合チーム)



ラウンド1で受けたフィードバックを活かします



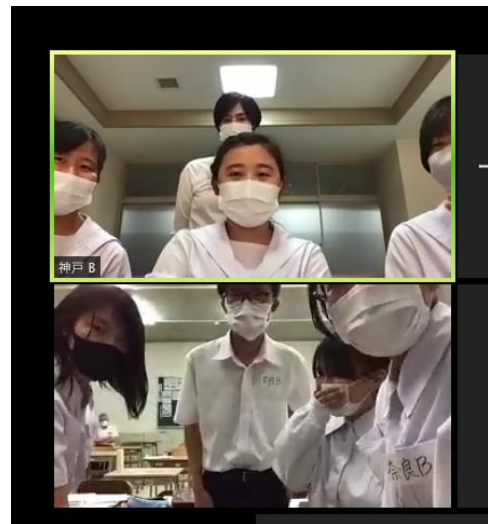
元気よく POI !!



ジャッジのコメントを真剣に聴いています



リモートでディベートする様子(奈良 A)



ディベート後交流する様子(神戸 B・奈良 B)

そしてジャッジを務めた教員やスタッフがもう一度この人のディベートを見たいとエキシビションディベーターに推薦した6名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は「*Online exchange can provide the same benefits as study abroad. (オンライン交流は、海外留学と同様の利益をもたらす。)*」でした。恥ずかしさをあまり感じずに交流できるというオン

ライン交流の特徴や、文化やコミュニケーション、社会的スキルなど、特に勉強以外の面でオンライン交流は不十分であることなど、自分たちが海外に行った際の経験や友人の例などを提示しながら具体的に説明しました。また、POI を有効活用し、疑問に思った点などを積極的に質問し、返答しました。

生徒も勝敗を考えながらディベートを観戦し、ディベートが終わると Zoom の投票機能を使って Government が勝ったか Opposition が勝ったか投票が行われました。生徒ジャッジとメインジャッジの投票の結果、今回のエキシビジョンディベートは Opposition チームの勝ちとなりました。



エキシビジョンディベート PM(奈良高校)



エキシビジョンディベート LO(北野高校)



エキシビジョンディベート MG(北野高校)



エキシビジョンディベート MO(奈良高校)



エキシビジョンディベート LOR(神戸高校)



エキシビジョンディベート PMR(膳所高校)

閉会式では、神戸高等学校校長世良田先生より、「緊張したかもしれませんが、皆さんが白熱したディベートをする姿を見て頼もしいなと思いました。幅広い知識、論理的に考える力、コミュニケーション力はこれから必要になる力です。ぜひこれからも磨き続けてください。」とエールが送られました。そして、北野高校校長萩原先生より、「皆さん、Good Job でした。今年はオンラインでの開催でしたが、来年オフラインで皆さんに会えることを楽しみにしています。お疲れ様でした。」と労いのお言葉をいただき、関西交流大会の幕が閉じました。



神戸高校 校長 世良田先生によるご挨拶



北野高校 校長 萩原先生によるご挨拶

## 【表彰】

### 〈エキシビジョンディベータ賞〉

PM	■■■■■	さん	(奈良高校 A)
LO	■■■■■	さん	(北野高校 A)
MG	■■■■■	さん	(北野高校 A)
MO	■■■■■	さん	(奈良高校 A)
LOR	■■■■■	さん	(神戸高校 A)
PMR	■■■■■	さん	(膳所高校 A)

### 〈チーム賞〉

1位	奈良高校 A
2位	膳所高校 B
3位	北野高校 A
4位	奈良高校 B
5位	神戸高校 A

### 〈ベストディベータ賞〉

■■■■■	さん	(北野高校 B)
■■■■■	さん	(北野高校 B)
■■■■■	さん	(北野高校 A)
■■■■■	さん	(膳所高校 B)
■■■■■	さん	(膳所高校 B)
■■■■■	さん	(彦根東高校)
■■■■■	さん	(神戸高校 B)
■■■■■	さん	(神戸高校 A)
■■■■■	さん	(奈良高校 B)
■■■■■	さん	(奈良高校 A)
■■■■■	さん	(奈良高校 A)

### 〈POI 賞〉

■■■■■	さん	(膳所高校 B)
■■■■■	さん	(奈良高校 A)
■■■■■	さん	(北野高校 B)
■■■■■	さん	(北野高校 A)
■■■■■	さん	(膳所高校 A)
■■■■■	さん	(奈良高校 B)
■■■■■	さん	(奈良高校 B)



北野高校 校長 萩原先生に表彰(北野 A)



チーム賞表彰 (膳所 B)



POI のポーズで表彰(POI 賞)

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

### 生徒の声

- 即興型ディベートの楽しさを知れて良かったです。やり終わった後はとても達成感を感じました。また機会があれば参加したいです！【彦根東】
- ジャッジの方々から沢山のアドバイスを頂けて貴重な体験となりました。ありがとうございました。【神戸】
- 今日は様々な人の英語を聞いてよかった。上手い人もたくさんいて、ディベートをする中で多くのものを得たと思う。【彦根東】
- 高い技術をもつ人々のディベートに実際に触れられたことで、立論の仕方、説得力の持たせ方、比較の仕方などを学べたから。【北野】
- 普段、今日ほどの英文を短時間で書くことも、一人で話すこともありません。なかなかこういったことが苦手でしたが、今日は今までで一番自己表現ができたと思ったからです。来年もまた挑戦したいと思います。【神戸】
- 他の学校の生徒さんとディベートしたことがなかったので、他校の英語力の高い方や考えがしっかりされている方のスピーチを聞いて、とても楽しかったです。まだまだ不十分な英語でしたが、挑戦できて楽しかったです。また機会があれば他校とディベートしたいです。【神戸】
- 自分が得意な英語を最大限に活かせることができ、2 試合目でベストスピーカーに選ばれたのが嬉しかった。【北野】
- チームワークが良かった上、様々な視点から物事を考えられた。また、議題が面白かった。【北野】
- 普段とちがいで、別の高校の人と対戦できたから。また、自分たちの力をためすことができたから。【奈良】
- 他校の方々のレベルがとても高くて、自分たちもそのように思っていることを言葉にできるようになりたいと思えました。いい経験になりました。【彦根東】
- これまでは同校のチームとの勝負だったが、今回は他校のチームと対戦し、勉強になることが多くあった。【彦根東】
- 相手の主張を予想し、それに対する反論を考えるのが難しかったです。皆さんとディベートをして良い刺激を受けられました。【北野】
- コロナの影響で対面ではなかったけれど、対面と同じくらいの熱量の試合ができてとても楽しかったです。次はぜひ対面でもやってみたいです！とてもいい経験になりました。ありがとうございました！【北野】
- 自分の英語力の向上を感じられた【膳所】
- 人前で話すのは苦手だが良い経験を得られた。【奈良】
- 英語でディベートをするのは新鮮だった。【堀川】

- まだまだディベートに慣れていなくて、自分の力不足を感じましたが、沢山の刺激をもらうことができました。これからもディベートの力を上げられるよう、練習を続けたいと思います。【彦根東】
- 初めて他校と対戦し、これまでとは違うシチュエーションだったので緊張して上手く話せるか不安だったが、しどろもどろではあったが最後まで話を繋ぐことができたので、とても良い経験をする事ができた。今回の経験をこれからの活動に生かしていきたいと思った。【彦根東】
- 知的な交流ができた。【膳所】

### 教員の声

- 毎年確実に全体のレベルが上がっていることに驚いています！今後も非常に楽しみです！
- 生徒達が熱心にディベートに取り組む姿が見られて良い刺激を受けました。
- 生徒たちの白熱した姿をみて、感動しています。

